

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和7年6月1日現在）

法人名	(公財) かながわ海岸美化財団						
設立年月日	平成3年4月1日			代表者名	代表理事 門脇 努		
所在地	茅ヶ崎市汐見台1番7号			電話番号	0467-87-5379		
基本財産等	1,789,278,035	円	県出資額	1,400,000,000	円	県出資率	78.2 %

2 法人運営における現状の課題（法人）

① 自主財源（会費収入、寄附金収入、基本財産運用収入）の確保
② 海岸清掃事業負担金等の財源の確保
③ かながわプラごみゼロ宣言やSDGsの方向性に沿った海岸美化の普及啓発
④ 限られた予算の中での効率的な事業の運営

3 法人の県主導第三セクターとしての検証（所管課）

（1）公益性について

当該法人が清掃する相模湾沿岸150キロの海岸の良好な景観・環境は県民の共有財産であるところ、海岸漂着物処理推進法において、海岸管理者等は海岸漂着物等の処理のため必要な措置を講じ、市町村は必要に応じて協力しなければならないとされている。当該法人が行う海岸美化事業は、美しく豊かな自然を保護するための海岸事業であり公益性がある。
--

（2）県行政との関連性について

当該法人が行う海岸清掃事業は、本来的には自治体の事務であるため、当該法人の設立時に県・相模湾沿岸13市町が清掃事業の内容、事業費の負担、ごみの処理・処分等について合意しており、広域自治体で海岸等の管理者である県行政と密接に連携している。
--

（3）民間代替性について

かながわ海岸美化財団は日本で唯一の海岸美化専門の団体であり、既存の土木工事業者や廃棄物処理業者において当財団に匹敵する規模で継続性・機動性をもって海岸清掃を実施する団体もないため、民間代替性はない。

4 経営改善目標の達成に向けた取組実績等（法人）

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度自己評価
1	海岸美化充実・強化検討会議への参画	回	2 (2)	3 (2)	2 (2)	(2)	(2)	A
	(担当者会議)		1 (1)	1 (1)	1 (1)	(1)	(1)	A
	(課長会議)		1 (1)	2 (1)	1 (1)	(1)	(1)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	担当者会議、課長会議とも開催され、海岸清掃事業に関する状況について、県及び各市町と意見交換ならびに情報提供することができたため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度自己評価
2	環境出前授業「学校キャラバン」の実施	人	3,814 (うち新規1,061) 2,700 (うち新規200)	3,934 (うち新規1,304) 3,000 (うち新規200)	3,188 (うち新規1,047) 3,040 (うち新規200)	(うち新規) 3,070 (うち新規200)	(うち新規) 3,100 (うち新規200)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	昨年を下回ったものの、参加人数及び新規参加人数が目標を上回ったため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度自己評価
3	海岸の美化啓発のための講演等	回	13 (10)	10 (10)	9 (10)	(10)	(10)	B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	海岸ごみの現場の実態を踏まえた立場から、講演を行った。目標値に若干届かなかったため、B評価とした。				企業等からの講演依頼を積極的に受けることにより、目標を達成するよう、さらに取組を進める。			
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度自己評価
4	海岸の美化啓発のためのワークショップ開催	回	10 (5)	17 (5)	15 (5)	(5)	(5)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	市町の実環境フェア等で実施し、目標値を大きく上回ったため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度自己評価
5	海岸清掃ボランティアへの支援	人	140,947 (110,000)	166,669 (130,000)	165,811 (160,000)	(160,000)	(160,000)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	個人や小規模での清掃は順調に推移し、参加人数が目標値を大きく上回ったため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度自己評価
6	美化団体交流会の開催	人	341 (160)	411 (160)	430 (160)	(160)	(160)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	会場開催に加え、オンラインで配信するハイブリッド形式で実施して、全国各地からの参加を得られ、人数も目標値を上回ったため、A評価とした。							
	備考							

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	6 年度自己評価	
1	海岸清掃事業費負担金収入	千円	251, 773 (248, 716)	248, 763 (248, 716)	266, 530 (248, 716)	(248, 716)	(248, 716)	A	
	(通常清掃費)		231, 340 (227, 691)	235, 200 (227, 691)	244, 280 (227, 691)	(227, 691)	(227, 691)	A	
	(緊急清掃費)		20, 433 (21, 025)	13, 563 (21, 025)	22, 250 (21, 025)	(21, 025)	(21, 025)	A	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	通常清掃費、緊急清掃費とも昨年度より増となり、目標値を上回る収入を得られたため、A評価とした。								
	備考								

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度自己評価
2	会員の会費収入	千円	9,064 (7,500)	9,635 (7,700)	10,044 (7,900)	(8,200)	(8,500)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	積極的に財団事業のPRと会員加入の働き掛けを行った結果、会費収入は過去最高となり、目標値を上回ったため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度自己評価
3	寄附金収入	千円	5,839 (3,200)	8,332 (3,400)	8,096 (3,600)	(3,800)	(4,000)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	財団事業に賛同する企業等から、使途を指定した寄附やごみ袋の提供を受け、目標値を上回ったため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	6年度自己評価
4	常勤職員数	人	8 (8)	8 (8)	8 (8)	(8)	(8)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	財団の業務運営に必要最低限の職員数であり、美化啓発などで業務も増えている中で、既存の人員体制で業務を維持することができたため、A評価とした。							
	備考							

5 財務状況（法人）

（単位：千円、％）

区分		4年度	5年度	6年度	増減率 (前年度比)	備考
貸借対照表	資産	1,986,844	1,987,993	1,972,294	△ 0.8	
	流動資産	59,175	69,445	78,257	12.7	定期預金の増
	固定資産	1,927,669	1,918,547	1,894,037	△ 1.3	
	負債	120,936	111,681	99,179	△ 11.2	
	流動負債	32,358	34,587	46,471	34.4	未払金の増
	固定負債	88,578	77,094	52,708	△ 31.6	退職給付引当金とリース債務の減
	正味財産	1,865,908	1,876,312	1,873,115	△ 0.2	
	指定正味財産	1,794,470	1,794,916	1,794,477	△ 0.0	
	一般正味財産	71,438	81,396	78,638	△ 3.4	

区分		4年度	5年度	6年度	増減率 (前年度比)	備考
正味財産増減計算書	一般正味財産					
	経常収益	306,609	306,823	325,308	6.0	
	経常費用	306,459	301,760	328,067	8.7	
	事業費	296,015	291,268	317,285	8.9	
	うち人件費	72,197	69,264	78,783	13.7	
	管理費	10,444	10,493	10,782	2.8	
	うち人件費	2,236	2,224	2,137	△ 3.9	
	評価損益等計					
	評価損益等調整前当期経常増減額					
	当期経常増減額	150	5,063	△2,758		
	経常外収益	0	4,896	0	△ 100.0	5年度は、退職給付引当金取崩を行ったが、6年度はなかったため。
	経常外費用	0	0	0		
	当期経常外増減額	0	4,896	△0		
	当期一般正味財産増減額	150	9,958	△2,758		
	指定正味財産					
	当期指定正味財産増減額	558	446	△439		
	正味財産期末残高	1,865,908	1,876,312	1,873,115	△ 0.2	

(単位:千円、%)

区分		4年度	5年度	6年度	増減率 (前年度比)	備考
県の財政的支援※	補助金					なし
	交付金					なし
	負担金	144,555	139,737	153,302	9.7	
	貸付金					なし
	利子補給					なし
	合計	144,555	139,737	153,302	9.7	
	県の財政的支援の割合 (合計/経常収益)	47.1	45.5	47.1	3.5	

※第三セクター等の指導、調整等に関する要綱に基づく支援区分

(単位:千円、%)

区分		4年度	5年度	6年度	増減率 (前年度比)	備考
参考	委託料(指定管理料含む)					なし
	① 合計(県の財政的支援+委託料)					
	県の財政的関与の割合 (合計(県の財政的支援+委託料)/経常収益)					
	② 債務保証(残高)					なし
	損失補償(残高)					なし

(単位:%)

指標	計算式	4年度	5年度	6年度	増減率 (前年度比)	備考
正味財産比率	正味財産/(負債+正味財産)	93.9	94.4	95.0	0.6	
流動比率	流動資産/流動負債	182.9	200.8	168.4	△ 16.1	
人件費比率	人件費/経常費用	24.3	23.7	24.7	4.1	
管理費比率	管理費/経常費用	3.4	3.5	3.3	△ 5.5	

6 取組実績等についての総括（法人）

当財団は、令和4年度に策定した第6次経営改善計画に基づき、一層効率的な財団運営を目指して取り組んでいる。

海岸清掃事業については、令和6年度は、負担金収入が増額となり、目標額を確保できたため、着実に実施することができた。なお、8月の大雨により、災害級のごみが漂着した際には、関係機関との連携を図り、対応した。

自主財源の確保については、財団事業の積極的なPRと会員加入の働き掛けにより、会費収入はさらに増加し、過去最高となった。また、財団事業に賛同する企業等から、寄附金を受けた。

美化啓発事業については、学校キャラバンの参加人数や講演、ワークショップの実施回数については、ほぼ目標を達成でき、啓発の効果をあげることができた。

美化団体支援事業においては、海岸清掃ボランティアに対するきめ細かい支援を行うことにより、過去最高であった昨年に匹敵する参加人数となった。また、美化団体交流会をハイブリッド形式で実施し、多くの参加者を得ることができた。

事業の実績は、ほぼ目標値を達成することができた。今後も更に実績を上げられるよう努めていく。

7 取組実績等についての総括（所管課）

海岸清掃事業については、定期的な海岸パトロールを実施し、海岸ごみの散乱状況等を的確に把握し、通年の計画的な通常清掃とともに、荒天等による漂着ごみの急増時には緊急清掃を実施することができた。

自主財源の確保については、積極的な事業PRと会員加入の働き掛けにより、会員数及び会費収入が増加した。また、多額の寄付金や物品寄付を受けることができた。

美化啓発事業については、環境出前授業「学校キャラバン」及びワークショップは目標値を上回り、講演等も積極的に事業実施した。

美化団体支援事業については、海岸清掃活動の情報提供や参加者への清掃用具貸出等きめ細かに支援することで、過去最高水準の約16万6千人となった。また、企業・学校・関係行政機関・環境美化活動をしているボランティア等を対象とした美化団体交流会を開催し、参加者との交流を深めることができた。

今後も引き続き、財源の確保等、経営基盤の強化に努め、経営改善目標の達成に向けて指導していく。